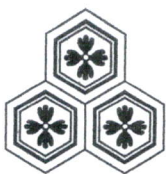


瀬戸内に建つ、400年の歴史

寺とも

かわら版



大利山

徳成寺

とく じょう じ

第227号 2025年11月 発行責任者／住職・大山健児 坊守・大山ひとみ

お坊さんの処方箋・毎日が報恩講

いつもありがとうございます。住職の大山です。今年も、いよいよ残すところ2か月となり、報恩講のシーズンを迎えました。と申しますのが、親鸞聖人が亡くなったとされる十一月二十八日が近づいて来たからです。

以前、ある先生からのメッセージで「報恩講は、十一月二十八日だけではありません。毎日が報恩講です」と教えられたことがあります。真宗門徒の生き様は日々報恩講である。

ただ皆さんの中には、日々の生活と仏様が結びつかない方が多いかもしれません。そしてその背中を見て育つ世代の人々は、益々仏様と離れぼなれの暮らしを送ることになります。そうであればこそ親鸞が遺した信仰をなお叫ばずにおれません。

なぜなら「ただ念仏申すほかなし」という親鸞の信仰をきちんと受けとめている方を、ほとんどお見かけしないからです。

信仰と言えば、ご利益を得るため

のお祈りであったり、貧困や病気や争い事・災い克服の手段のようにしか考えられていないのではないのでしょうか。

大山超世の耳を澄ませば 意味を超えて続ける

とんでもない。そのように何でも自分に都合よく利用する私達を、私達と一つになって大悲している仏様の恩徳を知ることです。立ち上がりずにおれなくなるのが信仰です。

お世話になります、副住職です。7月からダイエットを始めて体重を6kg落しました。目標は12kg減なので、文字通り道半ばです。継続している理由はお参り先で「体調はいかがですか?」と伺った際には多くの方が「膝が痛い」と仰ります。その話を聞く度に「私も痛いんだけどなあ…」と聞いていましたが、よくよく考えてみると、私は人よりも正座する機会が多いので、まず間違はなく膝を壊すスピードが早いはず。とは言え、少なくともあと3〜40年は持たせないとけないので、私も痛いんだけどなあ…と言うてる場合ではないなと思って続けている次第です。しかし、膝の痛みは体格はあまり関係なく皆さんお持ち



運動する私と
真似をする娘